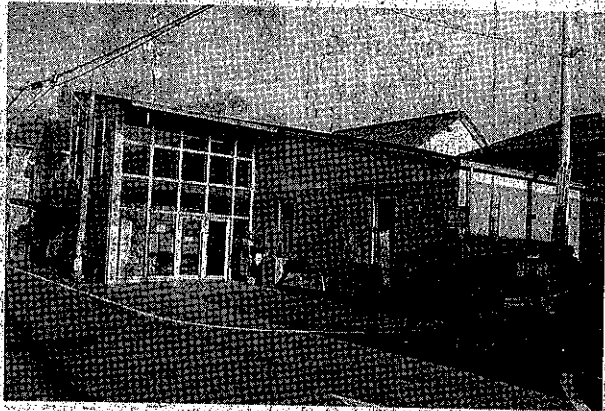


地域利用施設で太陽光発電 宝塚、自治会に国から補助金



太陽光発電パネルが設置された地域
利用施設高松会館—宝塚市高松町

宝塚市高松町の地域利用施設高松会館（鉄骨2階建て）に、施設を管理する地元自治会が太陽光発電パネルを設置した。市と共同で、国の「独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金」を申請し、支給が認められた。市によると、自治会が同補助金を申請し、支給されるのは全国初という。

同施設は平成20年3月に完成。地元の高松町自治会が管理し、地元住民の葬儀などに利用されている。光熱費が年間30、40万円かかるため、運営費は赤字で、自治会費で補填していた。このため、同自治会は昨年3月、太陽光発電パネルの設置を検討し、市と共同で国に同補助金を申請した。昨年12月、設置費用な

ど約580万円のうち、約半額の補助金が支給されることが決定。今年2月、施設の屋根の上に約70平方メートルのパネルを設置した。市などによると、10・32キロワットの発電が可能で、住宅約3軒分の1日の電気を作ることができる。この結果、年間約20万円の電気代を削減できるといふ。同施設は大規模災害の際に避難所として利用される「予備避難所」にも指定されており、同自治会は蓄電池の設置も検討する。